

宗谷管内学力保障プラン 3つの柱



に基づく取組の中間評価を行いました。

7月から8月にかけて、「令和6年度（2024年度）版 宗谷管内学力保障プラン 3つの柱」に基づく取組の中間評価を行いました。保護者の方にも、学校評価等のアンケートを通じて、多くの方に回答の御協力をいただきました。本当にありがとうございました。



そもそも、「3つの柱」とはどのようなものなのでしょうか？

管内の子どもたちの実態を踏まえた学力保障の取組を推進するため、目標や学校、市町村教育委員会、教育局の取組などをまとめたものです。



具体的には、

I 検証改善サイクルの確立

短期的、客観的な学力の状況把握と取組の改善

II 授業改革の推進

授業改革に向けた「5つのポイント」を踏まえた「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実

III 家庭・地域、学校間の連携の推進

自立した学習者を育てるための継続的な学びの環境づくりの推進



中間評価はどのような結果になりましたか？

結果の詳細については、宗谷教育局のwebページに掲載しています。下のURLまたは二次元コードから御覧ください。概要は次のとおりです。

<https://www.dokyoj.pref.hokkaido.lg.jp/hk/syk/Gimu/r3gakuhosho.html>

【概要】

III 家庭・地域、学校間の連携の推進

自立した学習者を育てるための継続的な学びの環境づくりの推進

学校の学力向上の取組や成果、改善策はよく分かりますか

小学校
【保護者1,284名】中学校
【保護者781名】

よく分かる

40.5%

21.3%

分かる

48.4%

55.6%

あまり分からない

10.2%

19.0%

全く分からない

0.9%

4.2%



これまでの結果と比較すると、

- ・小学校では、徐々に肯定的な回答の割合が増加しています。
- ・中学校においては、「全く分からない」と回答した保護者の割合が微増しています。

家で自分で計画を立てて勉強をしていますか

小学校
【第5学年児童393名】中学校
【第2学年生徒345名】

よくしている

30.3%

14.2%

ときどきしている

41.2%

36.8%

あまりしていない

19.6%

30.1%

全くしていない

8.9%

18.8%



否定的な回答（あまりしていない、全くしていない）をした児童生徒の割合は、小・中学校とも、昨年度より増加しています。

子どもが生涯にわたって幸福で豊かな生活を実現し、社会の創り手として自立していくためには、確かな学力、健やかな体、豊かな心を育むことが求められ、そのためには、望ましい生活習慣や学習習慣等の定着が大切です。

宗谷管内の子どもたちが望ましい生活習慣、学習習慣を定着できるよう、家庭、学校、地域等が連携した継続的な取組を一層充実させていきましょう。

